

森林価値創造プラットフォーム「森かち」

「森かち」は、森林由来のカーボンクレジットにおける創出から審査、取引までを包括的に支援するプラットフォーム。

カーボンクレジットの創出・流通の活性化により森の価値を高め、森と人を育みます。

近年気候変動に伴い、自然災害の激甚化や生態系への影響など様々な問題が深刻化しており、脱炭素化に向けた対応が急務となっています。

企業には、成長と脱炭素化の両立が求められますが、自社努力のみでの GHG 排出量削減には限界があります。

カーボンクレジットは、再エネ・省エネの導入や森林管理等による GHG 削減・吸収量を測定し、環境価値として取引可能な形にしたもの。

創出者の脱炭素化に向けた取り組み促進につながるため、今後活用が拡大すると見込まれます。

カーボンクレジット創出手段の1つである森林は、CO₂ 吸収源としてカーボンニュートラル実現に欠かせない存在。しかし国内では、高齢化による担い手不足、資金不足などから、森林の整備が進まないことが懸念されています。森林整備が不足すると、CO₂ 吸収量が低下するだけでなく、生物多様性保全や、水源の涵養、土砂災害防止などの森林が有する多面的機能の低下にもつながります。

また国が認証する制度である J-クレジットにおいて、森林由来のクレジットの割合は低く、創出量は全体の 10%程度、実際に利用された無効化・償却量は 5%程度にとどまっている状況です。

森林整備の促進に向けて、クレジットの創出量・流通量の拡大が求められますが、そのためには創出者、審査機関、購入者、それぞれの課題を解決する必要があります。

私たちは「森林と社会をつなぐ」をコンセプトに掲げ、森林クレジットが抱える課題を解決するサービス、「森かち」を提供します。

森かちでは、クレジットの創出・審査・取引を支援する様々な機能やサービスを提供することで、スムーズなクレジット取引を実現します。

例えば、GIS を活用したデータ管理・審査支援機能により、全ての情報をデジタル化して森林の位置情報と紐づけて管理。地図を見ながらオンラインを活用した審査が可能となります。

またクレジット販売ページでは、創出地域や森林の状況など様々な情報を見やすく提示することで、取引の活性化につながります。

カーボンクレジットの収益により森林整備を促進することで、CO₂ 吸収だけでなく、森林の多面的機能の維持・回復につながります。

また林業体験などを通じて、クレジットを購入した企業と森林所有者の交流を生むことで、地域経済の活性化や、企業の環境意識醸成にも貢献します。

「森かちでは、住友林業さまの有する森林経営の豊富なノウハウと、当社の ICT 技術を融合することで、質の高いカーボンクレジットの創出と透明性の高い流出を促進します。住友林業さまは創出者となる山林保有者に対して強いネットワークを保有しており、当社は通信事業者の立場を活かし、特定の業界・業種に限らない企業へコンタクトが可能です。」

「弊社は森林林業のコンサルタントも行っておりますので森林経営全体の中でどうクレジット創出を位置付けるか、この段階からご相談に乗れることが強みだと考えています。

ゼロから相談に乗れてご支援出来る所が特徴だと考えています。

二酸化炭素の吸収だけではなく地下水涵養や生物多様性保全、こういった機能にもしっかり光を当てて評価をして、森林の価値を最大化していきたいと考えています。森林や木材の循環が評価されて、脱炭素社会の実現や、あるいは森をはぐくみ、地域の経済を育むことに繋げていきたいと考えています。」